

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業			部局	林務部	課・室	信州の木活用課
				実施期間	S48 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・本県の森林が育てる時代から利用する時代を迎え、主伐の推進や県産材供給体制の整備等により、素材生産活動が本格化しており、林業就業者の確保と育成が必要。
 ・林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のせい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害の発生率は全産業で最も高い。

2 事業目的

林業就業者の確保・育成を図るため、林業事業体の事業の合理化、雇用管理の改善等を推進するとともに、多様な人材の活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①新規就業者の確保と就業環境の改善
- ・就職説明会や就業希望者向けの研修、オンラインセミナー等の機会の確保。
 - ・林業事業体の福利厚生の充実に向けた支援。
 - ・安全訓練環境の整備、安全研修や安全パトロールの実施。
 - ・人材育成機関及び試験研究機関の連携により森林・林業を支える人材の育成・輩出及びイノベーションの創出に向けた取組を支援。
- ②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決
- ・スマート林業技術を活用して皆伐等の素材生産事業を行う林業事業体について、システム等の導入を支援。
 - ・ICTを活用した林業等の生産性の向上を図るため、ドローン・GIS・解析ソフト・各種システム等のICTを高度に活用する人材の育成。
 - ・主伐・再造林を推進するために必要な低コスト造林技術等の試験・実証。
- ③事業改善や経営改善、就業準備等に必要資金の融資
- ・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資。
 - ・林業就業者確保のために、就業準備及び研修参加に必要な資金を融資。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	移住又は他産業からの転職による林業就業者数	人	64	88	↗	76	↘	74	達成	林業就業者の確保・育成を目指し、移住又は他産業からの転職による新規就業者に対する支援予定件数を目標として設定	
②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	社	45	59	↗	68	↗	83	未達成	R7年度までに県内の選定経営体にスマート林業技術の普及を目指すための目標として設定	
③	改善資金の貸付件数	件	0	2	↗	3	↗	4	未達成	林業事業体の経営改善を目指すために、直近5年間の事業実績(平均1.8件)の約2倍の貸付件数を目標として設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規林業就業者数	人/年	2022 (R4)	119	2023 (R5)	147	2024 (R6)	117	2027 (R9)	120

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等					
R6年度	0	183,976	△ 57,408		126,568	16,347	123,026	7.7
R5年度	27,523	170,522	△ 52,343		145,702	10,649	123,881	7.6
R4年度	23,282	114,912	8,747		146,941	10,583	85,890	5.7

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

7 主な取組実績と成果

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・共同就職説明会や就業希望者向けの相談会、オンラインセミナー等の実施及び実施に向けたSNS等による情報発信を行い、累計130名の就業希望者に対して機会の創出を行った。
- ・退職金制度加入補助に加え、振動病特殊健診受診や蜂アレルギー検査受診等の健康増進に対して、累計1,936名に支援を行い、林業事業体の福利厚生を充実を図った。
- ・高性能林業機械シミュレーターをさらに1台追加導入し、林業大学校や上伊那農業高校の授業で活用するとともに、イベント等で活用することで、安全に向けた機械操作訓練及び林業PRを行った。



②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

- ・スマート林業技術を活用して皆伐等の素材生産事業等を行う林業事業体14者について、システム等の導入を支援。
- ・ドローン・GIS・解析ソフト・各種システム等のICT技術を高度に利活用する人材を育成するための研修会を開催し、累計177名が参加した。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

- ・林業事業体や融資機関等に対して改善資金制度の周知を継続したことにより、3者に貸付を実施。
- ・林業大学校生に林業就業促進資金制度の周知を継続したことにより、5者に貸付を実施。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	変化	R6年度推移	変化	達成状況	備考
指標①	移住又は他産業からの転職による林業就業者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	達成
令和4年度以降、支援制度の周知、取組の結果、林業就業者数は増加している。							
指標②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
令和3年度以降、スマート林業技術を導入した事業体数が着実に増加しており、スマート林業の普及は進んでいるが、想定よりも時間を要している。							
指標③	改善資金の貸付件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
令和3,4年度は0件だったが、継続的な制度周知の結果、令和5年度は2件、令和6年度は3件と上昇傾向にある。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

①新規就業者の確保と就業環境の改善

新規学卒者は、前職のある中途採用者と比べて就職にあたっての原資が少なく、県外からの転居を伴う就業などは費用負担が大きい。また造林・保育作業などの季節的な事業量の増加に対応するために、兼業等の短期的な雇用など多様な働き方も推進する必要がある。

より一層の就業環境の改善や定着促進、新規就業者の確保・育成を図るため、支援策を浸透させることが必要である。

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

スマート林業技術の導入や技術者の育成が遅れている林業事業体では業務の効率化が図られず、事業体間で格差が生じている。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

より一層の制度資金活用に向けて、林業事業体や融資機関、林業大学校生等への周知継続が必要。

(2) 事業改善の方策

①新規就業者の確保と就業環境の改善

林業就業希望者向け説明会やPR活動を通じて制度周知及び情報発信の継続に加え、多様な者が活用しやすい支援策をさらに充実させることにより、一層の林業就業者の確保及び就業環境の改善を図る。

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

スマート林業技術の導入支援や技術者の育成により、林業事業体の業務の効率化など、スマート林業技術を用いた課題解決を図る。

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

事業体説明会等での制度周知継続に加え、要望調査等により資金の潜在ニーズの把握に努める。

事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	-----------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	林業就業者確保・育成事業	50,170 千円	78,010 千円	69,137 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	森林整備担い手育成確保総合対策事業	直接 補助金	・新規林業就業者確保のための共同就職説明会の開催等 ・林業労働力確保支援センターに対する補助 共同就職説明会：2回、信州就林セミナー：3回	
2	信州の森林で働く人材確保推進事業	補助金	・林業に就業する県外からの移住者や新卒者への移住経費を支援 ・他産業から林業に転職する者及び新卒者への移住・就業準備経費の支援 ・移住や就業等に対する不安を解消するため相談窓口を設置した林業事業体を支援 移住者支援：3人、林業キャリアスタート支援：38人、相談窓口対応：1社	
3	林業労働力緊急確保対策事業	補助金	・林業事業体の新規就業者（短期雇用含む）に対する奨励金の給付 ・林業新規就業者に対する基本講座の開催、資格取得に対する補助等 新規雇用者数：26人、林業新規就業者基本講座：2回、資格取得者：25人	
4	林業労働力活用促進対策事業	補助金	・地域を超えて労働力を移動する場合の機械運搬や通勤費に対する補助 ・林業団体による専門家派遣や森林経営計画策定等の研修会に対する補助 マッチング箇所：7箇所、研修会：1回	
5	多様な林業の担い手確保育成事業	直接 委託 補助金	・中学生向けの職場体験及び事例調査、動画教材制作及びイベントの開催等 ・林業の情報を统一的に発信するためのプラットフォームの整備 ・創業等に必要の初期投資に対する補助 中学校における林業職場体験3校、事例調査：22校、創業支援：2事業体	
6	林業就労条件整備促進事業	補助金	・林業事業体が就労条件改善を目的として実施する、退職手当掛金、蜂アレルギー検査、エピネフリン注射器購入費用、振動病特殊検診受診等の経費に対する補助 退職金共済掛金：711名、蜂アレルギー検査：300名、振動病特殊検診：686名	
7	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	・安全衛生指導員による林業事業体に対する安全巡回指導 ・林業安全技能指導員養成プログラムの開催 ・伐木チャンピオンシップ大会の開催 安全巡回指導：32回、労働安全衛生対策セミナー：2回	
8	林業士等養成事業	直接	・森林・林業セミナーの開催、林業士入門講座の開催 ・林業士を認定するための認定審査委員会の開催 森林・林業セミナー参加者：11人、林業士入門講座参加者：6名	
9	木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業	直接 委託	・木曽谷・伊那谷フォレストバレー構想の運営体制の構築 ・森林・林業人材育成プログラムに係る活動支援 運営協議会の開催：2回・専門会議の開催：2回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	森林組合等活性化対策事業	35,720 千円	16,981 千円	14,240 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(実績) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	森林組合等活性化対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合法に基づく常例検査の実施 ・生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 全面検査数: 12組合(うち会計士同行6組合)、部分検査数: 6組合	
2	持続的な林業経営の確立支援事業	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・安全技術、林業技術の学び直しの集合研修の実施 ・事業体ごとの課題にあわせた個別研修の実施 ・森林組合の経営リーダー育成のセミナーの実施 集合研修: 3回、個別研修: 8回、経営リーダー研修: 2回	
3	スマート林業構築普及事業	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業を実践するために必要なシステム等の導入に対する補助 ・ICTを利用したスマート林業を実践する人材の育成 ・主伐・再造林を推進するために必要な低コスト造林技術の試験・実証 支援事業体数: 14事業体、ドローン操作資格支援数: 2名	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	林業事業体支援事業	0 千円	28,890 千円	34,017 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(実績) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	林業・木材産業改善資金貸付金	貸付金	<ul style="list-style-type: none"> ・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資 貸付件数: 3件、貸付額: 34,017千円	
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	<ul style="list-style-type: none"> ・林業就業者確保のために、(一財)長野県林業労働財団を通じて就業準備及び研修参加に必要な資金を融資 労働財団から就業者への貸付: 5件 労働財団から就業者への貸付額: 3,000千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	県民参加型予算事業費	— 千円	— 千円	5,632 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(実績) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	【木曽地域振興局】 木曽地域材製品・DIYキット開発事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化に向けた新たな木製品の開発 ・地域内での利用拡大に向けたDIYキットの開発 新たな木製品の開発: 2件、木質空間づくりDIYキットの開発: 1式	